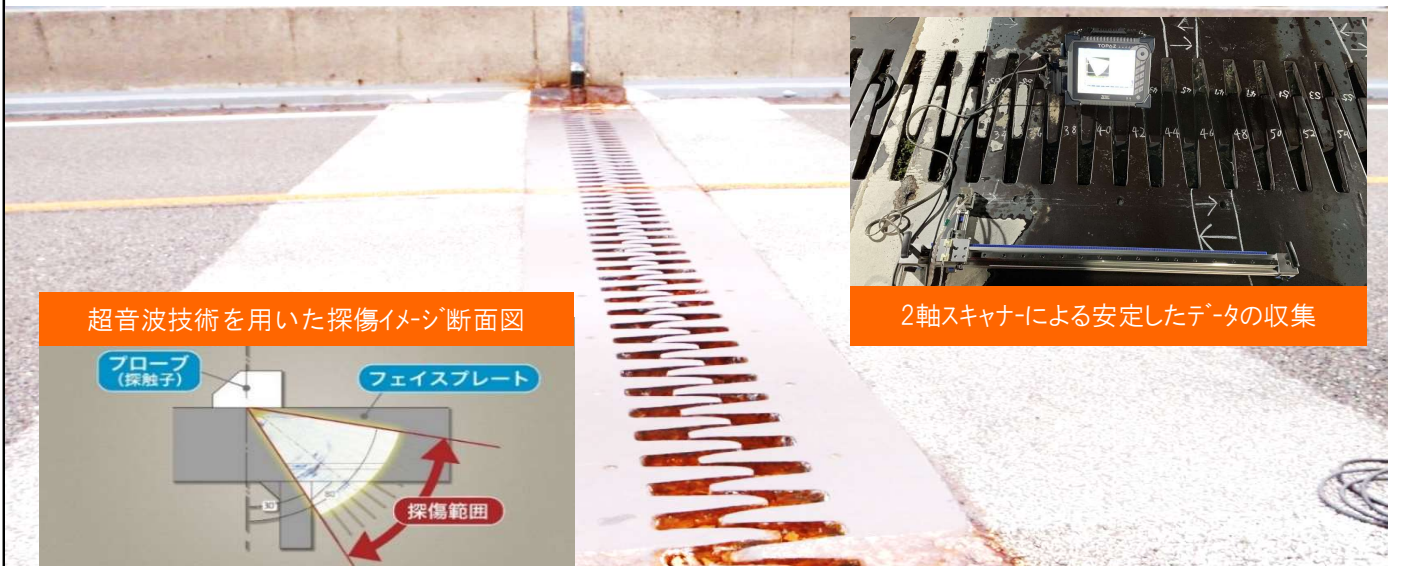
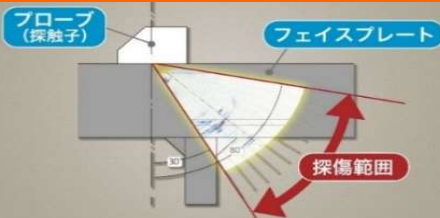


# 鋼製フィンガージョイント 劣化診断システム

## 【内部の潜在き裂】を容易に発見

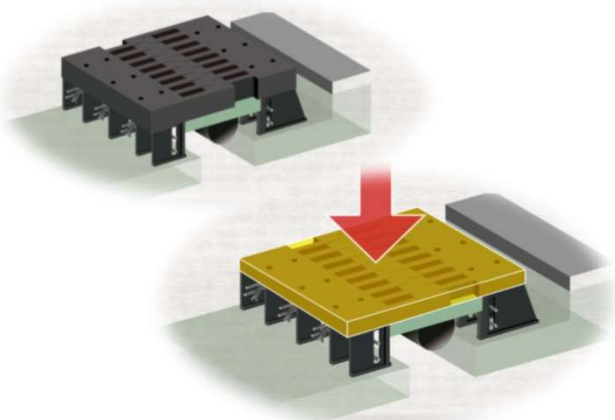


超音波技術を用いた探傷イメージ断面図



2軸スキャナーによる安定したデータの収集

### 調査対象



高強度材料を使用して板厚を抑えた箇所

平成15年(2003年)10月制定  
「鋼製フィンガージョイント設計基準」

10月以前  
フェイスプレート板厚  
基準なし

10月以降  
フェイスプレート板厚  
100mm未満×

※SM400B,Cから高強度のSM520Cに変更すると板厚を薄くできるが、作用応力が増加し疲労耐久性が問題となる。このことから板厚は100mmに固定することが望ましい。(設計要領 第二集 抜粋)

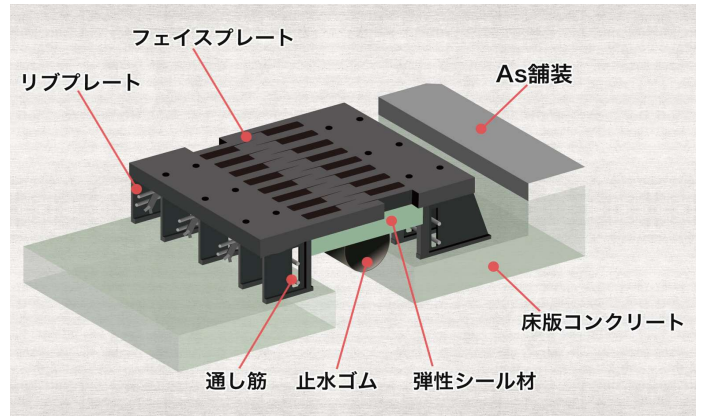
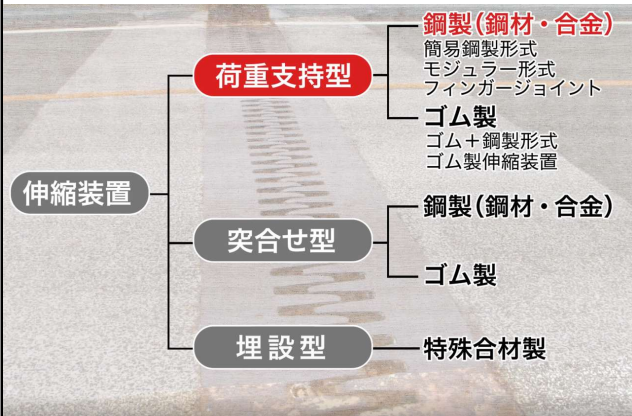
設計基準改定前に設計・建設された箇所

西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社

みち、ひと...未来へ。

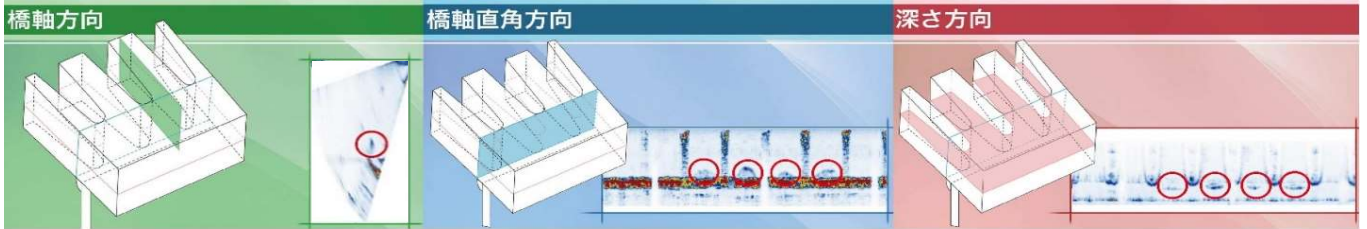


# 1. 鋼製フィンガージョイントの種類と構造



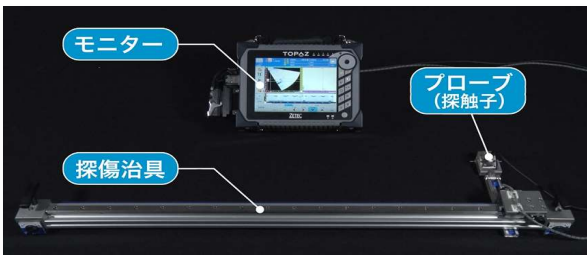
# 2. 本システムの特徴

- ・フィンガージョイント内部のき裂状況を可視化
- ・専用ソフトを用いることで、様々な角度から評価が可能

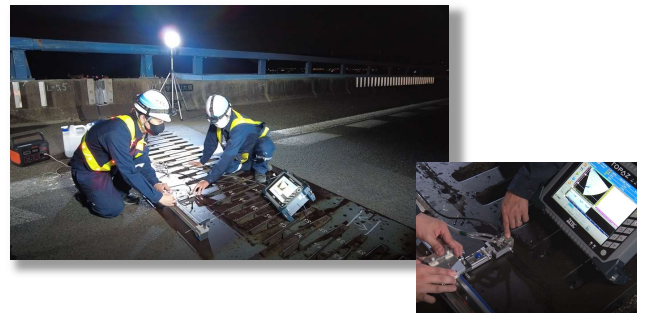


# 3. 調査方法

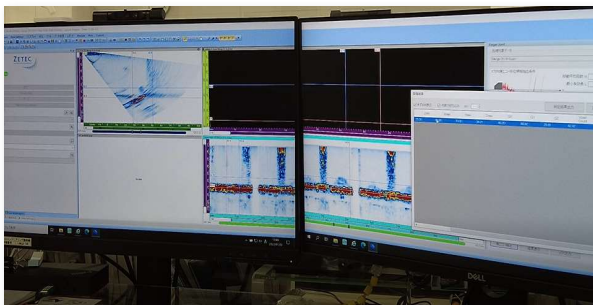
## ①測定機器の準備



## ②探傷治具をセット、左右へのスライドにより調査



## ③PCへデータを取込み



## ④き裂箇所を自動抽出

